

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成25年10月22日(火) 2校時
場 所 盛岡市立永井小学校 5年1組教室
児 童 男19名 女17名 計36名
指導者 小笠原 由美

- 1 単元名 説明のしかたについて考え、グラフや表を引用して意見文を書こう
教材名 「天気を予想する」(光村図書5年P128～137)
「グラフや表を引用して書こう」(光村図書5年P138～141)

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- 題材、筆者の考え、文章の書かれ方に興味をもって読んでいる。 【関心・意欲・態度】
- ◎ 筆者が事例、理由や根拠として挙げている事実を読み取り、筆者の主張についての意見を表すことができる。 【読むこと (1)ウ(1オ)】
- ◎ 目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど、書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。 【書くこと (1)ア(1エ)】
- 書いたものを発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。 【伝国 (1)イ(オ)(1)イ(キ)】

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○題材、筆者の考え、文章の書かれ方に興味をもって読んでいる。 ○意見に説得力をもたせるときの、表やグラフの有効性に気づき、書いたものを読んで確かめようとしている。	○意見を述べた文章や解説の文章などに対する自分の考えをもつために、必要な内容を押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえたりして読んでいる。	○自分の考えの根拠となる事実を表す表やグラフを引用して、自分の意見が説得力をもって伝わるように書いている。	○文章の中での語句と語句との関係を理解している。 ○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。

(3) 単元を貫く言語活動

- 筆者の説明の工夫について考えをまとめる活動
- 統計資料を根拠として、意見文を書く活動

3 単元について

(1) 子どもの実態

児童は、1学期、2つの説明的文章を読んだ。「新聞を読もう」の学習では、編集のしかたや記事の書き方に目を向けて新聞を読み、また、「見立てる／生き物は円柱形」の学習では、文章の書かれ方や文章構成に着目して要旨をとらえる活動を行った。しかし、キーワードを探すことはできるが、制限時間内で要旨をまとめることが難しい児童もいた。また、社会科における資料の読み取りを苦手とし、グラフや表の有効性になかなか気づくことができない児童もいる。

グラフを活用することは、4年「読書生活について考えよう」で学習している。また、5年の1学期、「次への一歩—活動報告書」の学習では、事実と意見・感想を区別して書く活動を行い、項目による書き分けと文末表現による書き分けを学習した。そのためか、家庭学習の日記を見ると、事実と意見・感想を区別して書くことができる児童が増えた。

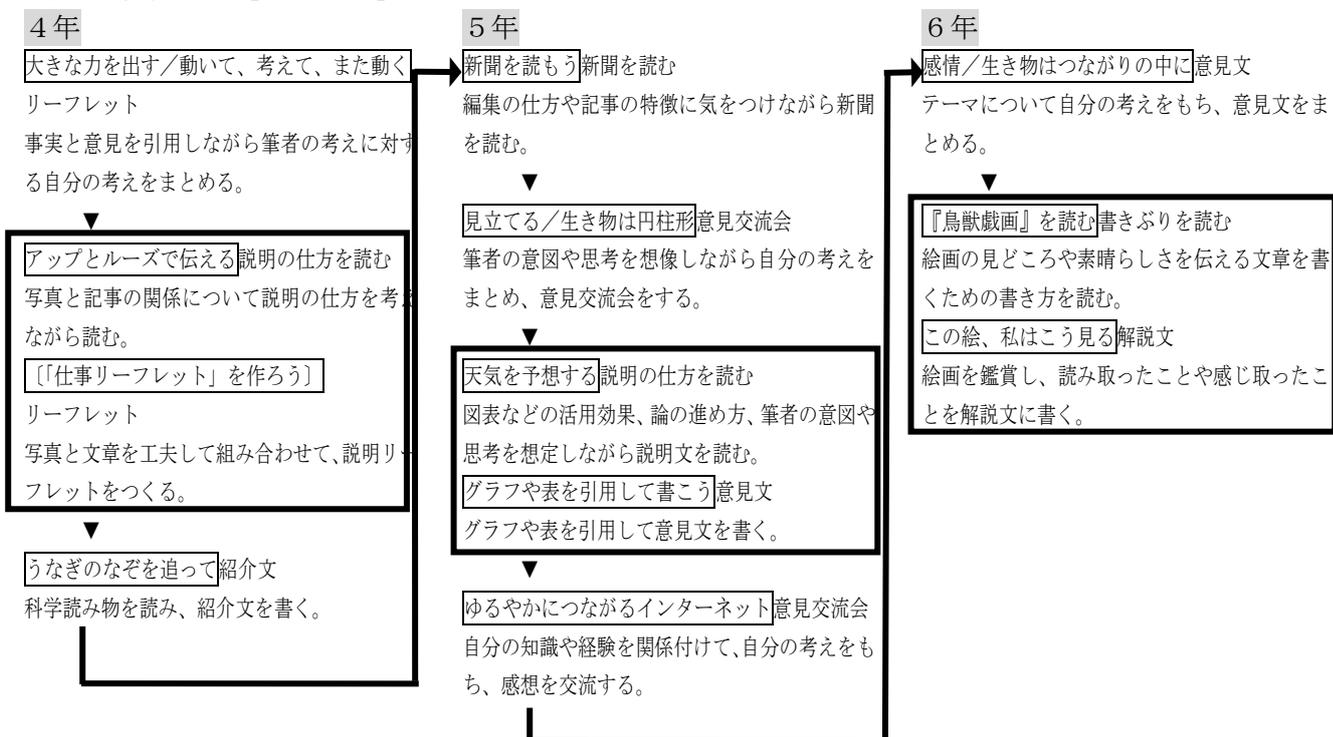
日常的に、ノートやワークシートに書いたことをもとに、ペアやグループで、自分の考えを友だちと交流する活動も行い、全員が自分の考えを友だちに話すことができる。しかし、根拠を明らかにして友だちにわかりやすく話したり、自分の考えを深めたりすることができない児童がいる。

(2) 教材について

「天気を予想する」は、全文にかかる問いはなく、1つの問いに対する答えがあり、さらにそこから新たな問いが生まれるということが3回繰り返される文章構成になっていて、科学的内容への興味を持続させる工夫がされている。最終段階では、筆者の意図が示されていて、要旨がとらえやすくなっている。また、筆者の説明を支える資料である表・写真・図・グラフなどが効果的に使われていて、読み手を納得させるように工夫されている。

「グラフや表を引用して書こう」は、「天気を予想する」の学習を踏まえて、「暮らし」に対する自分の考えをわかりやすく説得力をもって読み手に伝える文章を書くために、調べ学習を通して収集したグラフや表を効果的に用いる活動が設定されている。

◎単元の位置づけ【言語活動】



(3) 指導について

「天気を予想する」を通して、各資料が何を表しているかを読むこと、それらと文章と対応させること、資料について文章ではどのように解説しているかを読むこと、資料があることで説得力が増しているかを確かめることなどを学習する。また、全体の構成、記述のしかたについても、説明の効果を確認する学習を行う。児童が、学習の中で、グラフや表を用いた説明の効果について考え、感想を発表することは、社会科などの他教科の学習の広がりが期待できる。日常生活において、児童の身の回りの雑誌や広告などで使用されているグラフや表などの資料が、どのような意図があって掲載されているのかを考えさせ、次の教材へつなげたい。

「グラフや表を引用して書こう」では、児童自身の立場（今の社会が「暮らしやすい」か「暮らしにくい」かのどちらかを選択）や考えに見通しをもたせるために、「暮らし」に対する立場決定に配慮する。取材の段階では、引用するグラフや表の解釈・吟味をし、自分の考えを裏付ける資料となりえるのか考えさせる。記述の段階では、引用の基本的技術を習得するとともに、グラフや表の分かりやすい説明を行うことによって、自分の考えの根拠を読み手に伝えたい。相互交流の場では、引用されたグラフや表の説得力をもって、意見文を書いた児童（筆者）の考えを裏づけていたかどうかという点に関して、意見や感想を交流させたい。

4 単元の指導計画と評価計画（全13時間）

次	時	主な学習内容と学習活動	評価規準
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画を立て、見通しをもつ。 説明のしかたについて考え、グラフや表を引用して意見文を書こう。 ・新出漢字など言葉の学習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図・表・グラフ・絵・写真を用いた文章に興味をもって読んでいる。（発言）
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・天気に関わる経験、天気予報について知っていることなどを発表する。 ・「天気を予想する」を読み、感想を書き、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天気や天気予報について、自分の経験を進んで話し、興味をもって文章を読んでいる。（発表）
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・文章中の3つの問いと答えを見つけ、書きまとめる。 ・文章構成図を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの問いと答えを見つけ、それぞれの関連を読み取ることができる。（ノート、発表）
	4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフの意図と効果を考える。 ・数字の使い方と効果を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表・写真・グラフ、数字の使い方について、筆者の意図やその効果に気づくことができる。（ノート、発表）
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が伝えなかったことを300字以内で書きまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の考えとその根拠となる事実をとらえ、筆者が伝えなかったことを書きまとめている。（ノート）
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いたものを発表する。 ・P136に示された3つの観点に沿って感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの観点に沿って、自分の考えを書いている。（ノート）
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた感想文を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを深めたり、広げたりしている。（ノート、発表）
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・語と語のまとまりや、接続のしかたについて考える。 ・身近にある図や表が使われた文章を探し、それらの意図や効果について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語と語のまとまりや、接続のしかたについて理解している。（発表） ○ 図・表・グラフ・写真を使った説明の効果を整理している。（ノート）
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・「くらしやすさ」「くらしにくさ」について自分の考えを表に整理する。 ・書き出したことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「くらしやすさ」「くらしにくさ」について自分の考えを整理しようとしている。（ノート、発表）
3	10	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフを引用するときの留意点を確認める。 ・どのような統計資料を探す必要があるのかを確認める。 ・自分の考えを裏づける統計資料を探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見文の構成要素を理解している。（ノート）
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料を読み取り、自分の考えを裏づけるものかどうか確認める。 ・資料を引用・解説して、文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な材料を集めている。（観察、ノート） ○ 考え、根拠などを書き分けている。（ノート）
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・書いたものを読み返し、推敲する。 ・「意見文集」にするため、清書をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 統計資料と本文との関連を示している。（ノート）
	13	<ul style="list-style-type: none"> ・観点に沿って書いた文章を読み合う。 ・意見や感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他者の文章を読んで、優れた点を具体的に指摘している。（ノート、観察） ○ 意見文の構成要素を理解している。（ノート）
			<ul style="list-style-type: none"> ・教室前廊下に「意見文集」を展示し、他学級の児童にも読んでもらう。

筆者の説明文の工夫について考えをまとめる活動。

統計資料を根拠として、意見文を書く活動。

5 本時について

(1) 本時の目標

表・写真・図・グラフ、数値を用いた意図と効果に着目し、筆者の説明の工夫について自分の考えをもつことができる。

(2) 本時の評価規準

観点	評価規準 (B)	評価方法	(B) を実現していない児童への手立て
読む能力	表・写真・図・グラフ、数字の使い方について、筆者の意図やその効果に気づくことができる。	ノート 発表	資料が無いときの読み手の受け取り方を考えさせる。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点 評価 (◇) 言語活動 (*) <形態>
導入 (5分)	1 前時までの学習を振り返る。 2 本時の学習課題を確認する。 表やグラフを引用している筆者の意図と効果について考えよう。 3 本時の学習の見通しをもつ。 ○学習形態を確かめる。	○筆者の説明の工夫が、表やグラフの効果的な引用であることを確かめる。
展開 (30分)	4 「表・写真・図・グラフ」の効果について考える。 ・「表」や「グラフ」があると、「本当にそうだ。」と確かめながら読むことができる。 ・「写真」は、読み手がよく分からないものを紹介するために使っている。 ・「予想図」という言葉だけでは分からないものも、「図」があるからイメージできる。 5 数値の効果について考える。 ・書かれていることを信用しやすい。 ・数値では説明しにくい内容では、必要ない。 ・変化がわかりやすい。 ・表やグラフを一緒に見て確かめられる。	○筆者が、「表・写真・図・グラフ」の資料を引用している意図とその効果を考えさせたい。 * 「表・写真・図・グラフ」を文章に書かれている説明と対応させながら読むために、教科書にサイドラインを引く。 <個人> * 全員が自分の考えを発表し、自分の考えを広げたり深めたりする場を設定する。 <グループ> ◇ 「表・写真・図・グラフ」の意図・効果に気づくことができる。(ノート・発言) ○ 「数値」のもつ客観的であるという説得力と合わせて、第1～6段落と第7～10段落の説明の質や説明を裏づける根拠の違いに着目させる。 ○ 表とグラフの効果を再確認し、意見文を書く次時の活動につなげたい。 ◇ 数字の使い方について、筆者の意図やその効果に気づくことができる。(発言)

終末 (10分)	6 学習課題についてまとめる。	
	表やグラフを効果的に引用すると、筆者が示したい事実が分かりやすい。	
	7 学習を振り返る。 ○自己評価をする。 ○振り返りを交流する。	○筆者の考えそのものではなく、考えの根拠となる事実を分かりやすく伝えるために様々な資料を引用していることを確かめ、次の活動へつなげたい。
	8 次時の学習内容を確認める。	

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表やグラフを効果的に引用すると、筆者が示した事実が分かりやすい。</p> </div>	<p>数值</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: left;"> <p>〈前半〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八十パーセント ・八十五パーセント ・約千三百か所 ・全国二十か所 <p>…</p> <p>〈後半〉無</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>グラフ</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>グラフ</p> </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>表</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>表</p> </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>写真</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>写真</p> </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>写真</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>写真</p> </div> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表やグラフを引用している筆者の意図と効果について考えよう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>説明のしかたについて考え、グラフや表を引用して意見を書こう。</p> </div>
	<p>・書かれていることを信用しやすい。</p> <p>・数値では説明しにくい内容では、必要ない。</p> <p>・変化がわかりやすい。</p> <p>・表やグラフを一緒に見て確かめられる。</p>	<p>・目で変化が分かる。</p> <p>・「そうなんだ」「なるほど。」</p> <p>・分かりやすい。</p> <p>・よく分からないものをイメージできる。</p> <p>・確かめながら読むことができる。</p>	<p>天気を予想する</p> <p style="text-align: right;">武田 康男</p>